

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第3区分
 【発行日】令和1年8月8日(2019.8.8)

【公開番号】特開2018-5530(P2018-5530A)
 【公開日】平成30年1月11日(2018.1.11)
 【年通号数】公開・登録公報2018-001
 【出願番号】特願2016-131052(P2016-131052)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 15/02 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 15/02 3 4 0 B

【手続補正書】

【提出日】令和1年6月26日(2019.6.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明に係る計算装置は、入力された数値データに対して、第1税計算キーの操作に応じて当該第1税計算キーに対応する第1税率に基づき第1の税計算結果に係わる数値データを算出する第1税計算手段と、入力された数値データに対して、第2税計算キーの操作に応じて当該第2税計算キーに対応する第2税率に基づき第2の税計算結果に係わる数値データを算出する第2税計算手段と、第3税計算キーの操作に応じて、前記第1税計算手段により算出された第1の税計算結果に係わる数値データと前記第2税計算手段により算出された第2の税計算結果に係わる数値データとを合計した税計算結果の総合計額の数値データを取得させる税計算結果総合計額取得手段と、預かりの数値データが入力され、前記税計算結果総合計額取得手段により前記税計算結果の総合計額の数値データを取得後にお釣りの操作が行われたことに応じて、前記預かりの数値データから前記税計算結果の総合計額の数値データを減算した数値データをお釣りの数値データとして取得させる税計算結果総合計お釣り取得手段と、を備えたことを特徴としている。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

入力された数値データに対して、第1税計算キーの操作に応じて当該第1税計算キーに対応する第1税率に基づき第1の税計算結果に係わる数値データを算出する第1税計算手段と、

入力された数値データに対して、第2税計算キーの操作に応じて当該第2税計算キーに対応する第2税率に基づき第2の税計算結果に係わる数値データを算出する第2税計算手段と、

第3税計算キーの操作に応じて、前記第1税計算手段により算出された第1の税計算結果に係わる数値データと前記第2税計算手段により算出された第2の税計算結果に係わる数値データとを合計した税計算結果の総合計額の数値データを取得させる税計算結果総合計額取得手段と、

預かりの数値データが入力され、前記税計算結果総合計額取得手段により前記税計算結果の総合計額の数値データを取得後にお釣りにキーの操作が行われたことに応じて、前記預かりの数値データから前記税計算結果の総合計額の数値データを減算した数値データをお釣りの数値データとして取得させる税計算結果総合計お釣り取得手段と、を備えたことを特徴とする計算装置。

【請求項 2】

前記税計算結果総合計額取得手段により税計算結果の総合計額の数値データを取得させるときに、前記税計算結果の総合計額の数値データをお釣り計算用合計メモリへ記憶し、前記税計算結果総合計お釣り取得手段により前記減算した数値データを前記お釣りの数値データとして取得するときに、前記税計算結果の総合計額の数値データを、前記お釣り計算用合計メモリから取得する、お釣り計算用合計記憶読み出し手段を、さらに備えることを特徴とする請求項 1 に記載の計算装置。

【請求項 3】

前記税計算結果総合計額取得手段により税計算結果の総合計額の数値データが取得された後、前記第 1 税計算キー及び前記第 2 税計算キーの何れかの税計算キーの操作に応じて、前記第 1 の税計算結果及び前記第 2 の税計算結果のうちの前記何れかの税計算キーに対応する何れかの税計算結果を合計した税率毎の税計算結果の合計額の数値データを取得させる税率毎税計算結果合計額取得手段と、

預かりの数値データが入力され、前記税率毎税計算結果合計額取得手段により前記税率毎の税計算結果の合計額の数値データが取得後に前記お釣りにキーの操作が行われたことに応じて、前記預かりの数値データから前記税率毎の税計算結果の合計額の数値データを減算した数値データを税率毎のお釣りの数値データとして取得させる税率毎税計算結果合計お釣り取得手段と、を備えたことを特徴とする請求項 1 又は請求項 2 に記載の計算装置。

【請求項 4】

前記税率毎税計算結果合計額取得手段により税率毎の税計算結果の合計額の数値データを取得させるときに、前記税率毎の税計算結果の合計額の数値データをお釣り計算用合計メモリへ記憶し、前記税率毎税計算結果合計お釣り取得手段により前記減算した数値データを前記税率毎のお釣りの数値データとして取得するときに、前記税率毎の税計算結果の合計額の数値データを、前記お釣り計算用合計メモリから取得する、税率毎お釣り計算用合計記憶読み出し手段を、さらに備えることを特徴とする請求項 3 に記載の計算装置。

【請求項 5】

前記第 1 税計算手段は、前記第 1 の税計算結果として、第 1 税率に基づく第 1 税込額、第 1 税抜額及び第 1 税額を算出し、

前記第 2 税計算手段は、前記第 2 の税計算結果として、第 2 税率に基づく第 2 税込額、第 2 税抜額及び第 2 税額を算出し、

前記税計算結果総合計額取得手段は、前記第 1 税込額と前記第 2 税込額とを合計した税込総合計額の数値データを取得させ、

前記税率毎税計算結果合計額取得手段は、前記何れかの税計算キーに対応する税込額を合計した税率毎の税込合計額の数値データを取得させ、

前記税計算結果総合計額取得手段により前記税込総合計額の数値データが取得された後、前記何れかの税計算キーの操作毎に、前記税率毎の税込合計額の数値データと、当該税率毎の税込合計額に対応する税抜合計額の数値データと、当該税率毎の税込合計額に対応する税合計額の数値データとを、切り替えて表示させる税率毎税合計切り替え表示手段、をさらに備え、

前記税率毎税計算結果合計お釣り取得手段は、前記税率毎税合計切り替え表示手段により前記税率毎の税込合計額の数値データが表示中に預かりの数値データが入力され、その後前記お釣りにキーの操作が行われたことに応じて、前記預かりの数値データから前記税率毎の税込合計額の数値データを減算した数値データを前記税率毎のお釣りの数値データとして取得させる、ことを特徴とする請求項 3 又は請求項 4 に記載の計算装置。

【請求項 6】

前記第1税計算手段は、前記第1の税計算結果として、第1税率に基づく第1税込額、第1税抜額及び第1税額を算出し、

前記第2税計算手段は、前記第2の税計算結果として、第2税率に基づく第2税込額、第2税抜額及び第2税額を算出し、

前記税計算結果総合計額取得手段は、前記第1税込額と前記第2税込額とを合計した税込総合計額の数値データを取得させ、

前記税計算結果総合計額取得手段により税込総合計額の数値データが取得された後、前記第3税計算キーの操作毎に、前記税込総合計額の数値データと、当該税込総合計額に対応する税抜総合計額の数値データと、当該税込総合計額に対応する税総合計額の数値データとを、切り替えて表示させる総合計切り替え表示手段、をさらに備え、

前記税計算結果総合計お釣りに取得手段は、前記総合計切り替え表示手段により前記税込総合計額の数値データが表示中に預かりの数値データが入力され、その後前記お釣りにキーの操作が行われたことに応じて、前記預かりの数値データから前記税込総合計額の数値データを減算した数値データを前記お釣りの数値データとして取得させる、ことを特徴とする請求項1乃至請求項5の何れか1項に記載の計算装置。

【請求項7】

計算装置のコンピュータにより、

入力された数値データに対して、第1税計算キーの操作に応じて当該第1税計算キーに対応する第1税率に基づき第1の税計算結果に係わる数値データを算出し、

入力された数値データに対して、第2税計算キーの操作に応じて当該第2税計算キーに対応する第2税率に基づき第2の税計算結果に係わる数値データを算出し、

第3税計算キーの操作に応じて、前記第1の税計算結果に係わる数値データと前記第2の税計算結果に係わる数値データとを合計した税計算結果の総合計額の数値データを取得させ、

預かりの数値データが入力され、前記税計算結果の総合計額の数値データを取得後にお釣りにキーの操作が行われたことに応じて、前記預かりの数値データから前記税計算結果の総合計額の数値データを減算した数値データをお釣りの数値データとして取得させる、ようにした計算方法。

【請求項8】

コンピュータを、

入力された数値データに対して、第1税計算キーの操作に応じて当該第1税計算キーに対応する第1税率に基づき第1の税計算結果に係わる数値データを算出する第1税計算手段と、

入力された数値データに対して、第2税計算キーの操作に応じて当該第2税計算キーに対応する第2税率に基づき第2の税計算結果に係わる数値データを算出する第2税計算手段と、

第3税計算キーの操作に応じて、前記第1税計算手段により算出された第1の税計算結果に係わる数値データと前記第2税計算手段により算出された第2の税計算結果に係わる数値データとを合計した税計算結果の総合計額の数値データを取得させる税計算結果総合計額取得手段と、

預かりの数値データが入力され、前記税計算結果総合計額取得手段により前記税計算結果の総合計額の数値データを取得後にお釣りにキーの操作が行われたことに応じて、前記預かりの数値データから前記税計算結果の総合計額の数値データを減算した数値データをお釣りの数値データとして取得させる税計算結果総合計お釣りに取得手段、として機能させるためのコンピュータ読み込み可能なプログラム。